



アイホールダンスコレクション vol.65
関西を拠点とするパフォーミング・アーティストとの共同製作事業
Take a chance p r o j e c t 026
Let's try to do something although there is a large risk of danger or failure!

KIKIKIKIKIKI

作・演出・振付 **きたまり**

出演 **池浦さだ夢** (男肉 du Soleil)

竹ち代穂也

筒井潤 (dracom)

土佐和成 (ヨーロッパ企画)

平林之英 (sunday)

二口大学

山崎彬 (悪い芝居) **ほか**

日時 **2011年6月10日【金】 19:30 / 11日【土】 15:00 / 12日【日】 15:00**

*開演1時間前より受付開始。入場整理券を発行します。*開場は開演の30分前。*未就学児童の入場はご遠慮ください。

会場 **アイホール** (伊丹市立演劇ホール) JR伊丹駅前／阪急伊丹駅より東へ徒歩7分

料金(自由席) 一般／前売2500円 当日2800円

学生・ユース (25才以下) ・60才以上／前売2000円 当日2300円

*学生・ユース (25才以下)、60才以上のお客様は、当日受付にて年齢の分かる書類か学生証をご提示ください。

チケット取扱

チケットぴあ Tel 0570-02-9999 [Pコード:411-640] <http://t.pia.jp/>

アイホール Tel 072-782-2000

JCDN ダンスリザーブ (オンラインチケット予約) <http://dance.jcdn.org/>

お問い合わせ **アイホール**

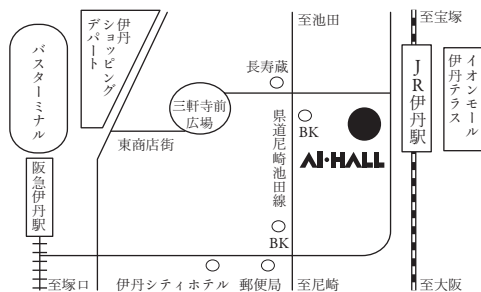
〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2-4-1 火曜日休館

Tel 072-782-2000 Fax 072-782-8880

info@aihall.com <http://www.aihall.com>

Take a chance project

アイホールと関西を拠点とするパフォーミング・アーティストが、1年に1作品ペースで3作、継続的に新作を共同製作します。「Take a chance」は、米語で「いちかばちか」という意味のイディオム。アーティストの新しい挑戦と、未知の才能に賭け、見守り育成しようとする劇場・観客の気持ちを象徴しています。



ぽく

男性だけを使った作品を作りたいと前々から思っていた。幼少時代に年子の兄に付いて回り、いつも男の子の後を追いつながら遊んだ記憶の中で、ぶっきらぼうであっけらかんとした身体の質感、特有の軽さがこよくて、いつも妬ましく羨ましく思っていた。それは今でも変わらない。今、大人になった男の子達と、無我夢中で舞台を作る。そこにある身体に大きな期待と、自由すぎる不安を抱きながら、この時間が楽しみでしかない。

きたまり

きたまり / KIKIKIKIKIKI

1983年生まれ。2003年ダンスカンパニー「KIKIKIKIKIKI」を主宰。以後、演出・振付・ダンサーとして作品を手がける。これまでにTOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2008にて振付作品『サカリバ007』でオーディエンス賞受賞。横浜ソロナディオ(Competition)＋にてソロダンス『女生徒』で未来にはばたく横浜賞受賞。「KIKIKIKIKIKI」は2011年度よりダンスカンパニーの名前を削除し、総合的な舞台芸術のカンパニーとしてグローバルな観客との出会いを目指し、「身体が持つ力こそが、生で舞台を見る喜びになるであろう」と云うマニフェストを掲げ、作品制作を行う。

▽出演者プロフィール

池浦さだ夢 Sadamu Ikeura

1983年生まれ。男肉 du Soleilの団長。近畿大学にて、碓井節子にダンスを学び今に至る。大学で専門的に学んだ演劇やダンスの知識、技術を確信的にそして感覚的に悪用するプレイスタイルを得意としている。現在は演劇界一のラッパーになるべく勉強をしている。見た目はキングの風貌。

竹ち代穂也 Mariya Takechiyo

1992年のある日、美術よりも面白そうに見えた舞踏に興味を持ち初舞台。白塗り、青塗り、金塗りと現在は平成の金粉ショー「新世界ゴールデンファインナス」でクラブやライブハウス、船上から披露宴会場など、劇場だけに留まらず活動中。とにかく節操の無い活動が多いため様々なジャンルのアーティストとのセッションも多い。

筒井潤 Jun Tsutsui

舞台芸術集団dracomのリーダー。2007年に京都芸術センター舞台芸術賞受賞。演出代表作として、俳優がサイコロを振ってセリフの担当を決める『空腹者の弁』、上演時間が20時間にも及ぶ『Green』、録音されたセリフとそれを演じる俳優の身体がずれる『もれうた』、『ハカラズモ』、『事件母(JIKEN-BO)』などがある。dracomでの活動の他、過去には山下残振付作品やマレビトの会に出演。

土佐和成 Kazunari Tosa

2004年、第16回公演「インテル入ってない」よりヨーロッパ企画に参加。以降、全作品に出演。劇団公演以外では舞台「CUT」(2010年・OOPARTS)、『ロス:タイム:ライフ』(2008年・フジテレビ)、『ANIMAL』(2004年・ボツドール)などに出演。『アグレッシブですけど、何か?』(広島ホームテレビ)にレギュラー出演中。

平林之英 Yukihide Hirabayashi

俳優、sunday所属。飄々とした人柄で味のある役作りに定評がある。サクセスブレイヤー、コンポーザー、楽団バシマス、イラストレーターなど様々な顔を持つエンターティナー。The Original Tempo、インハラバヤシに参加、またソロライブ♪音楽の旅を開催し、演劇と音楽をボーダーレスに行き来する活動を続けている。

二口大学 Daigaku Futakuchi

俳優。1968年生まれ。京都市在住。舞台活動の傍らワークショップも数多く行い、近年は朗読、落語にも取り組む。演劇ユニット昼ノ月に参加し、『顔を見ないと忘れる』(鈴江俊郎 作・演出)で第10回関西現代演劇俳優賞男優賞を受賞。アトリエ劇研アクターズ・ラボ講師。龍谷大学国際化学部芸術メディアコース非常勤講師。

山崎彬 Akira Yamazaki

1982年12月10日生。悪い芝居の作家・演出家・俳優。2001年より俳優活動を始め、2004年には作・演出活動も開始、同時に悪い芝居を旗上げる。遊び心満載でいて攻撃的な、演劇に特化した力強い作品を発表し続ける。第17回OMS戯曲賞佳作受賞。俳優として客演多数な中、今回女性演出家は初体験。

主催 公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市

助成 財団法人アサヒビール芸術文化財団

地域を結ぶ「みんなの劇場」創造事業

京都芸術センター製作支援事業



演出助手 野淵杏子 花本ゆか／舞台監督 浜村修司

照明 高原文江／音響 小早川保隆／宣伝美術 納谷衣美